

「宇部市新庁舎建設基本設計(素案)」市民説明会【会議録】

日 時 平成 29 年 12 月 21 日 (木) 18 : 30 ~ 19 : 30
場 所 厚南市民センター

1 「宇部市新庁舎建設基本設計(素案)」について(～19:00)

2 質疑応答(～19:30) ※以下、要約

【市 民】 建設時期をこの時期に決めた理由を教えてください。

なぜ、一番お金がかかる時期に建設するのか。今、建設単価は上がっている。来年、立体駐車場を建てるなら鉄骨が必要になる。そうなれば、鉄骨の準備もすぐしないといけない。今、鉄骨の単価は高いのになぜ今なのか。東京オリンピックが終わってからもよいのでは。

【市】 素案で示したスケジュールは決定したものではない。

平成 33 年の市制 100 周年に 1 期庁舎を供用開始すると考えた場合、このスケジュールになるということで記載している。

市が庁舎を建替えたいと考えているのは、熊本地震のような大規模な地震が起きた場合、今の庁舎の耐力だと庁舎が崩れて、すぐに災害復旧・対策活動ができないという事態が心配されるからである。よって、できるだけ早く建て直したいと考えている。

確かに建設単価については、だんだん上がってきているが、それでもリーマンショック以前の単価程度である。言われるとおり、オリンピック等があるので今後上がっていく可能性もある。ただし、オリンピック後、単価が下がるという保証もない。

以上のようなことを考慮しながら、今年 3 月を目途に、いつ着工するか決めたい。

【市 民】 基本設計作成時にどのぐらいの範囲の人にどのぐらいの意見を聞いたのか。厚南や楠の意見は入っているのか。

【市】 基本設計については、今年の 5 月～9 月にかけて、4 回の市民ワークショップを行い、その中で検討した。公募という形で参加者を募ったが、50 人程度の参加があった。参加者の居住地は調べていないが、基本計画策定時のパブリックコメントの際には、こちらの市民センターでも説明会を開催している。

【市 民】 防災計画についてお聞きするが、災害が起きた時、どのぐらいの人数の収容ができるのか。

それと、屋上に自家発電設備があるが、停電になったときに、どのぐらいの日数もつのか。

【市】 庁舎は災害対策活動拠点として位置付けており、通常の避難場所としては想定していない。スペース的には 500 人程度の一時避難が可能。

自家発電設備については、緊急活動に必要な最低限の容量で、3 日間もつ程度を確保しようと考えている。

- 【市民】 高潮対策については、どう考えているか。
- 【市】 県が示している高潮の想定高さ、標高 5.4m に対して、計画建物の地盤高さは、5.5m で設定している。更に、想定外の災害による浸水の可能性も考慮し、電気室・機械室等の重要設備については、最上階に設置することとした。
- 【市民】 立体駐車場と庁舎の連絡通路は 2 階部分だけか。すべての階で接続することはできないのか。
- 【市】 立体駐車場の階高が庁舎の階高より低い関係で、高さが合う階が庁舎 2 階部分のみとなっている。当然 1 階部分も行き来は可能。
- 【市民】 構造計画について、耐震と免震とがあるが、すでに免震という事で決まったのか。また、耐震とした場合と免震とした場合の費用の違いを教えてください。
- 【市】 耐震か免震かについては決まっていない。今後、比較検討の上決定する。建設費については、耐震に比べて免震は 5% の増と試算している。
- 【市民】 自然エネルギーによる発電は 50kW ということだが、通常使用に対してどのくらいまかなえるのか。
- 【市】 計算していないが、50kW を超えると 1 ランク上の契約となる（維持管理費が高くなる）ため 50kW としている。
- 【市民】 今の時点で、市は大体どのくらい電気を使われているのか。そこからの計算でどのくらいになっているか。
- 【市】 データとして持ち合わせていない。
- 【市民】 庁舎を建設する建設会社は決まっていないと思うが、共同企業体（複数の異なる企業等が共同で事業を行う組織）を組む際、宇部市内の会社が入っての共同企業体、ということで最初から話が進むのか。
- 【市】 工事の発注方法については今後検討していくが、当然、市内業者の受注機会のことは考慮したい。
- 【市民】 工事時期をずらせば安く済むかもしれないということを考えてほしい。それから、共同企業体にしたとしても、宇部の建設会社だけではできないだろうから、よそのゼネコンが入るだろう。そこに大きなお金を持っていかすことはない。どうせお金をかけるなら、どうすれば地元に着くか検討する、ということ強く求めたい。
- 【市】 参考にさせていただく。
- 【市民】 今回の概算事業費は、立体駐車場ができたため、以前より高くなったと思うが、この事業費に、移転費用・解体費用、建物内の備品・机等の費用は含まれているのか。また、含まれていない費用は、おおよそどのくらいと考えているか。

- 【 市 】 今回の概算事業費には、建物の工事費と広場の工事費、解体費、設計費が含まれている。移転費、備品・机等にかかる費用については含まれていない。
- なお、移転費、備品・机等にかかる費用については、他市の事例では6億円ぐらいである。これらの費用は、条件によって大きく金額が変わるので、今後、基本設計の中で金額を算定したいと考えている。